



次世代郊外まちづくりシンポジウム 「田園都市で暮らす、働く」を考える

横浜市と東急電鉄は、2012年より“たまプラーザ駅北側地区”において、地域住民のみなさまや、民間企業、大学などと連携し、郊外住宅地の再生のための様々な取り組みにチャレンジしてきました。2017年からは、たまプラーザでの活動を沿線で展開すべくさらなる活動を推進しています。そこでこのシンポジウムでは、今までの次世代郊外まちづくりの活動を振り返ると共に、今後の沿線展開を踏まえ「田園都市で暮らす、働く」をテーマに、会場にお越しのみなさまと共に郊外住宅地の未来を考えたいと思います。ぜひご参加ください！

2018 **11/4** sun 13:00~16:00
※12:00受付開始

[定員] 200名 先着順・申込不要 **入場無料**

※混雑状況次第では入場を規制させていただく場合がございます。

当日のプログラム

「田園都市で暮らす、働く」を考える

キーノートスピーチ

スピーカー

カルチャー
スタディーズ研究所
みうら あつし
三浦 展氏



トークディスカッション

ナビゲーター

東京大学
まちづくり研究室
こいずみ ひでき
小泉 秀樹 教授



「地域交通」に関する社会実験

次世代郊外まちづくりで進める地域交通に関する社会実験の内容を発表します。

会場ご案内図

プラーザホール by iTSCOM

たまプラーザ テラス ゲートプラザ2F



※駐車場は大変混雑いたします。公共の交通機関をご利用ください。





次世代郊外
まちづくり
WISE CITY

次世代郊外まちづくりシンポジウム 「田園都市で暮らす、働く」を考える

「次世代郊外まちづくり」とは？

人口減少社会、高齢化社会を迎える郊外住宅地の「既存のまち」における様々な課題の解決を住民、行政、大学、民間企業が協力して「次世代のまちづくり」に繋げていくプロジェクトです。

■ 当日のプログラム

「田園都市で暮らす、働く」を考える

キーノートスピーチ

郊外住宅地での新しいワークスタイルや、
これからの可能性についてお話しいただきます。

スピーカー

カルチャースタディーズ研究所 **三浦 展氏**

みうら あつし

社会デザイン研究者。1999年カルチャースタディーズ研究所設立。消費社会、家族、若者、階層、都市などの研究を踏まえ、新しい時代を予測し、社会デザインを提案している。著書も多数。2014年には「第1回 次世代郊外まちづくり ラーニングカフェ」の講師として“超高齢化社会を迎える郊外の再生”をテーマにお話しいただきました。



トークディスカッション

会場のみなさまと一緒に、
ディスカッションを行います。

ナビゲーター

東京大学まちづくり研究室

こいずみ ひでき

小泉 秀樹教授

東京大学大学院博士課程修了、東京理科大学助手、東京大学講師・准教授を経て、2013年から現職。博士(工学)。まちづくり、コミュニティ・デザインを専門とし、都市住宅学会論文賞ほか受賞多数。次世代郊外まちづくりのスタート時より、地域との共創によるまちづくりをテーマに様々な活動にご協力いただいています。



「地域交通」に関する社会実験

次世代郊外まちづくりで進める地域交通に関する社会実験の内容を発表します。

「まちづくり活動」の紹介

地域住民が進める「まちづくり活動」の紹介コーナーも設置します。

